

発行：2014年3月 発行責任者：松崎 道幸

## 第8回定期総会で、2014年度の方針を議論 総会記念講演会 「パレスチナガザ地区・シリアからのレポート」 140人の参加で盛況

2月22日、札幌市内（北農健保会館）において、第8回定期総会ならびに総会記念講演会「パレスチナガザ地区・シリアからのレポート」を開催しました。多くの参加と熱心な議論とともに成功を収めることができました。

総会決定と議論の内容、講演会の資料をご紹介します。

### 医療九条の会・北海道 第8回定期総会 会議録

2014年2月22日  
於：北農健保会館

15：00～講演会『パレスチナガザ地区・シリアからのレポート』

開会あいさつ（松崎） 司会（遠藤・能條）

講演1 「パレスチナ・ガザ地区医療支援レポート」猫塚義夫氏…「現代の戦争 アフガン、シリアを取材して」パレスチナ支援活動報告（猫塚義夫先生 当会共同代表）

講演2 シリア・アフガン取材報告（西谷文和さん フリージャーナリスト）

閉会あいさつ（三上）

17：45～ 総会 司会（玉井）  
議案提案（松崎）

（敬称略）



### 第24号 目次

■第8回定期総会 報告	1
■記念講演会 講演資料	
「パレスチナ・ガザ地区医療支援レポート」 猫塚 義夫 氏	8
「現代の戦争 アフガン、シリアを取材して」 西谷 文和 氏	20
■寄稿：2014年年頭所感	25
峯廻 攻守 氏（西円山病院院長）	
■お知らせとお願い	27

## 1. 共同代表・故安田慶秀先生に黙祷

(2013年7月9日逝去)

## 2. 総会の目的ならびに活動の方向

安倍政権は、国内外の世論に逆らって特定秘密保護法を遮二無二成立させました。アメリカ政府が「安倍政権にはがっかりだ」とクレームをつけても、安倍首相は靖国神社（Yasukuni War Shrine）参拝を強行しました。韓国軍に武器を提供し、沖縄知事に辺野古沖の埋め立てを了承させました。NHKの会長・経営委員の乱暴な発言は安倍首相の歴史認識を代弁するものです。国際社会は日本の現政権を「極右」とみなしています。

東日本大震災から3年が経とうとしています。被災地の復興は進まず、原発事故によって今なお14万人余りの人々が故郷から離れざるを得ない状況を強いられています。ところが、政府は原発を「基盤となる重要なベース電源」と位置づけたエネルギー基本計画案を発表して、いわゆる原子カムラの意向に沿った原発再稼働に向けた意志を明確に示しました。

GDPの伸びが減速し、4月からの消費税増税を控え、政府側の経済評論家さえ景気の落ち込みを懸念する事態になりました。安倍政権の1本目の矢は墜落です。

安倍首相が解釈改憲によって集団的自衛権行使を強行すると発言したとたん、自民党内からも、それが憲法原則からの大きな逸脱だと厳しい批判が出るようになりました。

日本国憲法で生存と自由が保障されてきた国民の生活は、崩壊の危機に瀕しています。

この国のあり方をどうするかについて、憲法九条を守る勢力と破壊しようとする勢力のせめぎあひがますます激しくならざるをえません。

憲法九条を守るたたかいをさらに進めましょう。

一人でも多くの方々に、医療九条の会・北海道の輪を広げることが、この戦いに勝つ最大の保証です。

## 3. 2013年度の主な活動一覧

- 2月16日 第7回総会・記念講演会  
「パレスチナ難民支援と中東問題報告」  
北海道パレスチナ医療奉仕団 猫塚団  
長  
98名参加
- 4月～ 富原薫編著「日本国憲法制定誌」読  
書会開始 月1回幹事会時 本年6月  
完了 予定
- 5月3日 憲法記念日 大通公園リレートーク  
(吉澤先生)
- 7月27日 堤未果さん「TTP」講演会  
札幌グランドホテル。320名
- 8月24日 小森陽一氏札幌講演会『憲法と吉里吉  
里国』 共済ホール350名
- 9月14日 小出裕章氏「原発」講演会  
札幌市民ホール。1500名以上。  
上田市長あいさつ。
- 11月7日 富原薫さんを囲む夕べ
- 12月8日 道新関口裕士氏「原子力負の遺産」出  
版記念講演会 紀伊国屋。70人

### 〈会員個人の活動〉

- 三上先生（共同代表）平岸九条の会で講演（11月17日）
- 猫塚先生（共同代表）11月末から1か月パレスチナで医療活動
- 松崎先生（幹事長）放射線被ばく問題で講演等  
他団体とのイベントの共催多数

## 4. 2014年度活動方針および予定

- ①憲法セミナーの継続的開催
- ②本年の結成記念講演会（夏頃）等の講演は現在  
人選中。
- ③5.3 憲法記念日 大通公園リレートーク
- ④憲法本の輪読会
- ⑤他団体との連携
- ⑥定例の会議（月1回）を「幹事会議」とする。  
共同代表の方の出席は任意。

⑦当会の主張を発信し、会員（現在348名、最高時は400人超）を拡大するための取り組み

1. 適宜アピールを発表し、効果的にメディアに拡散
2. ホームページの充実・メーリングリストの活用を図る
3. 紹介リーフレット作成
4. 会報発行
5. 様々な医療職、医系学生における会員拡大に重点
6. 道南以外の地域の医療九条の会結成

⑧財政の充実

## 5. 2014年度役員

## 6. 決算

## 7. 予算（資料 別添）

### ■総会での確認と、出された意見

○共同代表に、新たに永田康氏（美唄市立病院院長）を選出。

○総会出席会員の発言から

- ・福島 of 医療関係者の講演を希望。
- ・鎌田實さんは日中韓の問題について憎み合っ  
てはいけないという姿勢を表明している。
- ・猫塚先生の話、西谷さんの話よかった。若者  
への働きかけが課題。沖縄問題・基地問題・矢  
白別50周年も。

・我々と若い人とは、つながるツールが違う  
のでは（SNS など）。

・パレスチナ問題は沖縄問題と共通という指摘  
に感じ入った。戦前の藻岩発電所建設に強制  
連行された朝鮮人労働者の問題は、日本の朝  
鮮侵略の実態を明らかにするうえで重要と考  
える。札幌にはその例がたくさんある。（郷  
土を掘る会などのとりくみ）

・パレスチナ医療支援活動が前進していること  
に感銘。内地が沖縄を差別していることに懸  
念。

・堀潤さん（元 NHK）の話を聞いてみたい。

・戦争に突入した世論操作を学ぶ必要あり。

・若い人の新聞購読率著減。メディア関係者の  
講演が聞きたい。堀さんがいいのでは。

・久しぶりの参加。猫塚先生の話感動。しっか  
り事実の記録を残しておくのが大事では。

・音楽イベント良い。木村真三氏（獨協医大）  
の講演はどうだろうか。職場の研修会で道新  
記事など配布した。鈴木昭典さん（『日本国  
憲法を生んだ密室の九日間』著者）の講演も  
良い。食の問題も重要。

・若者問題は昔と同じ。昔も「今の若い者は…」  
と言っていた。若者を巻き込むには若者自身  
が企画することが大事。

・森村誠一氏（悪魔の飽食合唱）のイベント7  
月ある。イベントに加えてみては。

・（遠藤）鈴木昭典氏は講演に来ていただけ  
ること

## 2014年度 役員

	氏名	所属・役職等
共同代表	黒川 一郎	札幌医科大学名誉教授
々	三上 一成	三上整形外科医院院長
々	薄井 正道	羊ヶ丘病院名誉院長
々	菅野 保	菅野歯科医院院長
々	能條多恵子	元富良野看護専門学校校長
々	落合 裕昭	元北海道作業療法士会副会長
々	越田 靖夫	元北海道臨床検査技師会副会長
々	猫塚 義夫	勤医協札幌病院
々	永田 康	市立美唄病院院長（新）
幹事長	松崎 道幸	深川市立病院内科部長
副幹事長	堀元 進	旭町医院院長
々	吉澤 朝弘	勤医協西区病院
幹事	平野 哲夫	市立札幌病院腎臓移植外科嘱託
々	大方 直樹	勤医協中央病院
々	久村 正也	札幌心身医療研究所
々	遠藤 高弘	勤労者歯科医療協会理事長
々	梅木 晃彦	勤医協西区病院検査部
々	出井 聡	溪仁会本部ソーシャルワーカー
々	玉井三枝子	勤医協東在宅総合センター看護師
々	山田 大邦	元札幌医科大学物理学講師
々	蛭名美智子	沖縄県立看護大学小児保健看護学 特任教授
物故役員		
共同代表	安田 慶秀	北海道大学名誉教授（2013年7月9日逝去）

## 医療九条の会・北海道 2013年度決算

(収 入)	12年度決算	13年度予算	13年度決算	内 訳
繰越金	708,797	250,573	250,573	
会費	1,296,000	1,300,000	1,371,000	医師・歯科医師5000円 その他2000円
募金	356,100	350,000	403,970	
銀行利息	9	-	-	
事業収益	746,525	500,000	1,228,505	講演会参加費 DVD・書籍等販売
黒川一郎基金	699,265	-	-	繰入
合計	3,806,696	2,400,573	3,254,048	

(支 出)	12年度決算	13年度予算	13年度決算	内 訳
会議費	28,210	30,000	33,800	合同会議の会場費など
憲法セミナー・講演会	379,400	300,000	1,326,140	総会講演会・憲法セミナー
結成記念講演会	1,082,705	500,000	323,420	小森陽一講演会(8/24)
事業活動費	97,765	100,000	59,752	書籍など買い入れ費用
通信費(郵送費)	1,507,560	500,000	519,810	送料・振込手数料など
事務費	171,218	50,000	111,800	事務用品(封筒その他)
会報発行費	251,265	400,000	249,375	2号発行(第21号・第22号発行)
宣伝費(新設)	0	100,000	-	宣伝リーフレットの制作
交通費	0	60,000	-	全国交流集会の参加費用
渉外費	38,000	50,000	102,000	分担金など
黒川一郎基金へ戻入	0	200,000	400,000	
予備費	0	110,573	32,000	香典・花代
合計	3,556,123	2,400,573	3,158,097	

収支	250,573	***	95,951
----	---------	-----	--------

黒川一郎基金	
期首	0
利息	25
12月20日預金	400,000
残高	400,025

資 産	
現金	345
銀行	6
郵便	95,600
資産合計	95,951

		会費内訳								
		07年度分	08年度分	09年度分	10年度分	11年度分	12年度分	13年度分	14年度分	
一般・コメ ディカル	1000円会費									
	2000円会費					1人	10人	41人	1人	
医師・歯科 医師	3000円会費	1人	1人	3人						
	5000円会費				9人	15人	46人	178人	2人	
総数		1人	1人	3人	9人	16人	56人	219人	3人	
合計	1,371,000	3,000	3,000	9,000	45,000	77,000	250,000	972,000	12,000	
■(参考) 昨年度総数		4人	6人	8人	16人	32人	224人	1人	-	

当年度分納入者	219人/371人	59.0%
会員数 2013年12月31日現在	348人	

## 2014年度 予算

〈収 入〉	13年度決算	14年度予算	内 訳
繰越金	250,573	95,951	
会費	1,371,000	1,300,000	医師・歯科医師5000円 その他2000円
募金	403,970	350,000	
事業収益	1,228,505	600,000	講演会参加費 DVD・書籍等販売
合計	3,254,048	2,345,951	

〈支 出〉	13年度決算	14年度予算	内 訳
会議費	33,800	35,000	幹事会会場費など
憲法セミナー・講演会	1,326,140	400,000	総会講演会・憲法セミナー
結成記念講演会	323,420	500,000	
事業活動費	59,752	60,000	書籍など買い入れ費用
通信費（郵送費）	519,810	500,000	送料・振込手数料など
事務費	111,800	120,000	事務用品（封筒その他）
会報発行費	249,375	400,000	3号発行（3月 7月 11月）
宣伝費（新設）	-	100,000	宣伝リーフレットの制作
交通費	-	80,000	全国交流集会の参加費用
渉外費	102,000	100,000	分担金など
黒川一郎基金へ戻入	400,000	0	
予備費	32,000	50,951	香典・花代
合計	3,158,097	2,345,951	

収支	95,951
----	--------

# 医療九条の会・北海道 「申し合わせ」

## (名称)

本会は、「医療九条の会・北海道」と称します。

## (目的)

立場の違いをこえて、「憲法九条の改定に反対し憲法を守る」一点で手をつなぎ、北海道内の医療界および道民のなかで賛同を広げます。

## (活動)

上記の目的を達成するために、講演会など広く社会にアピールする活動をすすめます。

## (構成)

本会は、北海道の医療・介護関係者および道民の中で、平和憲法を激動する世界に輝かせようと呼びかけている「九条の会」アピールに賛同する方をもって、構成します。

## (運営)

1. 年1回総会を開催します。役員の変更、「申し合わせ」変更は総会で行います。
2. 本会の代表は複数名として、「共同代表」と称します。
3. 若干名の幹事からなる幹事会を構成します。幹事会は、会の日常活動の運営にあたることとし、その責任者として幹事長をおきます。
4. 幹事の中に、会計監査をおきます。

## (財政)

1. 本会の財政は、会費と寄付金等によってまかいます。
2. 会費は、年会費とします。会計年度は、1月1日から12月31日までです。  
医師・歯科医師 5,000円 それ以外の職種の方 2,000円
3. 会計報告は、毎年度総会で行い、監査を受けます。

制定 2006年7月22日

改定 2010年2月13日

# パレスチナ・「ガザ地区」からの 医療支援レポート

～パレスチナ医療奉仕活動と日本国憲法～

猫塚義夫

勤医協札幌病院 整形外科

「北海道パレスチナ医療奉仕団」団長

「医療9条の会・北海道」共同代表

2014、02、22「医療9条の会・北海道」第8回総会

## 中東の地理





## パレスチナの地理



## パレスチナ医療支援

### これまで活動経過

2008～2009年	イスラエル、ガザ侵攻
2010年7月	「医療奉仕団」結成（＊）
2011年01～02月	第1回 医療支援（視察）
2011年11～12月	第2回 医療支援（視察）
2012年11～12月	第3回 医療支援
2013年11～12月	第4回 医療支援

## 第4回 医療支援

2013年11月22日～12月21日

- 1) パレスチナ社会の実態の把握
- 2) 難民キャンプでの医療支援の継続・発展
- 3) ガザ地区の生活と医療実態の把握
- 4) ヨルダン、シリア難民キャンプ視察

## 第4回 医療支援

2013年11～12月

### メンバー

猫塚義夫: 団長 (整形外科医)

佐川 拓: 副団長 (臨床研修医)

白山晴雄: 事務局 (社会活動家)

清水幸恵: 会計 (理学療法士)

### 在札本部

宮島豊副代表・クイン明美・真崎茂法・西岡利康

## 第4回 医療支援

2013年11月22日～12月21日

第1週:ジェリコ

アクバドジャベル難民キャンプ

第2週:エルサレム近郊

シュファト難民キャンプ

第3週:ガザ地区

医療視察

第4週:ヨルダン

バッカ難民キャンプ(中東最大)

ザータリア難民キャンプ(シリア)

## UNRWA

United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees

(ヨルダン、レバノン、シリア、ガザ地区、西岸地区)

(国際連合パレスチナ難民救済事業機関)

活動:教育、医療・保健・救急、福祉

Long and Healthy Lives

137施設 4,650人のスタッフ 300万人の難民 1100万回の医療 (2009年)

産科・新生児医療 ---- 母子手帳の作成(ABJ-HCから)

家族計画・小児科医療

思春期・成人医療:がん予防・メンタルヘルス・歯科医療・理学療法

無料検診・投薬

慢性疾患:高血圧・糖尿病 その合併

環境問題

医療機関へのアクセス改善:137施設を網羅すること5つの移動医療チーム

暴力からの犠牲からの保護:レバノンやガザ地区を中心に

メンタルケアーとリハビリ

予算: UNRWA、12億3000万ドル中医療関係2億5000万ドル(2010年)

# パレスチナの医療事情

医療制度・・・自治区と難民医療の著明な格差

公的医療の「保障」あり

医療へのアクセス困難

「経済の壁」と「イスラエルの壁」

「RC」の経済的困難とUNRWAの活動

イスラエル軍事占領による機能不全

妊娠出産事情:母子手帳

- 慢性疾患・・・高血圧・糖尿病
- 心理的圧迫現象・・・「長期の占領」 DVなど
- 外傷・リハビリ医療
  
- 封鎖下の『ガザ地区』の特殊性



## 「ガザ地区」の現状

- \* 人口は約 170万人(うち、難民は110万人以上)、8カ所の難民キャンプ。
- \* 面積は363km<sup>2</sup> (札幌 1,121km<sup>2</sup>の1/3)  
難民キャンプは世界最高の人口密度。
- \* 失業率、70~80%。1日1ドルの貧困ライン以下の家庭、85%。
- \* 水や電気などのライフ・ライン、イスラエルのコントロール下にある。
- \* ガザの周囲、陸上は、壁とフェンス。海と空は、イスラエル軍の管理下。
- \* ガザの出入口は、北のエレツのみ。ガザの出入りは「完全封鎖」。
- \* イスラエルは外国人がガザへ入ることも阻止。

## ガザ地区の現状

### イスラエルによる「ガザ封鎖」政策

人的「封鎖」・・・失業～「希望破壊」  
地区外医療禁止・・・「死」

物質的「封鎖」・燃料、物資の欠乏  
産業力低下・・・失業  
病院機能停止・・・「死」  
インフラ破壊

## 女性たちの意見

夫たちの失業・・・「閉じこもり」・・・鬱状態  
家庭内暴力  
離婚問題・・・法律問題  
『家計』・・・経済保障  
女性の自立と女性労働  
子供たちの教育環境  
青年たちへの「麻薬」の浸透

## ガザの医療課題

生活習慣病・・・糖尿病/高血圧,肥満  
(Ex. 人工透析)  
悪性腫瘍・・・抗がん剤欠乏、手術困難  
  
運動器疾患・・・腰痛/変形性膝関節症  
外傷性疾患・・・熱傷、戦傷  
  
精神疾患・・・鬱病  
小児発育「異常」  
  
早期結婚問題  
家族計画

## ガザへの医療支援

- 1) 運動療法の確立・普及(アラブ世界)  
肥満の解消・・・糖尿病、  
運動器疾患へ
- 2) 「糖尿病足」への湿潤療法の導入  
安価で、どこでも可能
- 3) 医療技術へのコンサルト  
物でなく・・・「人から人へ」  
(少しの医療材料)

## ガザ地区の深刻な『医療破壊』

物資不足と欠乏・・・材料(縫合糸、手術材料・・・)  
医療機器(レントゲン、CT/MRI、透析機器)  
薬剤不足(抗がん剤、抗生剤)

医師・看護師不足・・・交流不可と技術停滞

病院・施設の老朽化・・・ 放置

衛生環境の悪化・・・上水・下水の不備、ゴミの放置

# 憎まない生き方～テロリストにならない医師の話～

・・・私たちの娘たちが最後の犠牲者になりますように・・・

イゼルディン・鎌田實・清田明宏医師



あるガザの医師が払った平和への代償

それでも、私は憎まない

イゼルディン・アブエライシュ 著 高月園子 訳

「憎まない」生き方をすると、希望と未来が見えてくるんだ。絶望的な本当の話に、泣いた、泣いた。—— 鎌田 實

「それでも、私は憎まない」

あるガザの医師が払った平和への代償

著者イゼルディン・アブエライシュ 著 高月園子 訳

価格1,995円(税込) 亜紀書房



## ザータリ、シリア難民キャンプ





## 私たちが考えること(1)

### # 医療によるパレスチナ支援を通して

…医療従事者の原点に立ち返る機会

具体的で目に見える支援

### # 難民問題への支援・解決

…イラク・アフガン・パレスチナ・ミャンマー難民  
東日本大震災・「脱原発」

### 何故？パレスチナ…中東問題の根源

「世界の火薬庫」

…中東・北アフリカ「民主化」と米の中東支配政策  
イラン中東の核問題

イスラエルの核問題

## 私たちが考えること(2)

### 国境を越えた「人々との連帯づくり」

連帯・絆Vs排除・孤立

…「憎まない生き方」…アジアの中の日本  
日中・日韓外交問題へも

### # 震災復興と「脱原発」への取り組み

### # 私たちの日常へ…平和で豊かで優しい社会へ

### # 若い人々との協同で…「社会の底力」の蓄積

「みんなの平和」

戦争(殺傷・破壊)のない社会

日本は本当に「平和」ですか??

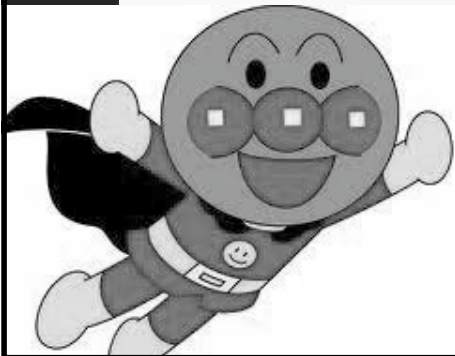
vs 安倍「好戦」政権

「みんなの幸せ」

私の幸せ～家族の幸せ～仲間の幸せ

～相手の幸せ……みんなの幸せ

vs 震災復興・脱原発



「一寸先は闇、

その先に光が……」

(アンパンマン)

## 日本国憲法とパレスチナ問題

…われわれは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地球上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。

われわれは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

# 日本国憲法とパレスチナ問題

## 憲法の国際的意義

# 平和主義＝第9条・・・戦争放棄  
紛争の平和的解決

# 国民主権＝「パレスチナ国家」の承認

# 基本的人権の尊重  
＝思想・宗教・表現・学問の自由

ノーベル平和賞を！！！！



# 現代の戦争

## ～アフガン、シリアを取材して～

西谷 文和

- 1 アフガン13年8月、ドイツの平和村の活動を取材して。  
劣化ウラン弾、クラスター爆弾、鉛筆型仕掛け爆弾まで。  
戦争と原発のつながり
- 2 アラブの春とリビア、シリア内戦  
欧米のダブルスタンダード  
シリアの現実を伝える必要と、マスコミのあり方  
おそらくシリアで化学兵器は使われている。  
今後どうなるのか？
- 3 戦争はウソやでっち上げ事件で始まる場合が多い  
戦争は「広告」で始まる イラク戦争をテレビはどう伝えたか？
- 4 戦争と原発の共通点  
① 利権 ②核 ③差別  
核のゴミ問題は未解決⇒ モンゴルへ？
- 5 今こそ、憲法9条の輸出を  
アフガン和平のロードマップ  
「戦争で儲けたい」人々が狙う武器輸出。  
対抗する私たちは平和憲法の輸出  
暴走する安倍内閣。集団的自衛権行使をストップさせよう  
橋下市長の「従軍慰安婦は必要だった」という暴言について  
「あまちゃん」が励ましてくれたもの



## はじめに

日本では福島原発事故と、沖縄の基地問題は別々に報道されます。でもこの2つは、実はつながっているのです。炉心がメルトダウンした福島原発の燃料は、3～5%の濃縮ウランです。沖縄の基地に核兵器が持ち込まれていますが、ウラン型の核兵器は、80～90%の濃縮ウランが詰められています。どちらも同じ濃縮ウランで、同じ工法で作られます。ただ濃度が違うだけ。戦争と原発の共通点は、①背後に莫大な利権があり、一部の人々が甘い汁を吸っていたこと。②両者ともウランを使って地球を汚していること。③そして差別、です。米軍の空爆で左手をなくしたゴルジュマちゃんは、学校でからかわれるので小学校に行かなくなりました。東京や大阪の電気を、福島や福井県の人々がリスクを背負って生産する。どちらも差別を拡大するのです。「戦争と原発はつながって」いて、「戦争や原発はメディアが作り出す」構造があります。このシステムを理解し、反戦・脱原発で行動を起こしましょう。もうダメされるのはイヤです。草の根から反撃を開始する時が来ています。

フリージャーナリスト  
西谷文和

## 「戦争と原発はつながっている」

### 1. 劣化ウラン弾と原発はつながっている

アメリカは銃弾の先端にウランを詰めた。ウランは天然に存在する金属の中で、もっとも重くて堅いから。戦車などを貫いて爆発する際に、ウランがエアロゾル化\*して周辺に拡散する。戦争が終わっても米兵が帰国しても、イラク人、アフガン人はそこに住み続ける。ウラン粒子を吸い込んだり、食料に付着したウラン粒子を食べたりして、内部被曝していると考えられている。



#### \*エアロゾル化とは…

ウランが爆発した際に、細かい粒子状になって周囲に飛び散ること。戦争後もウラン粒子が残るので、様々な影響を及ぼします。



#### 劣化ウラン弾

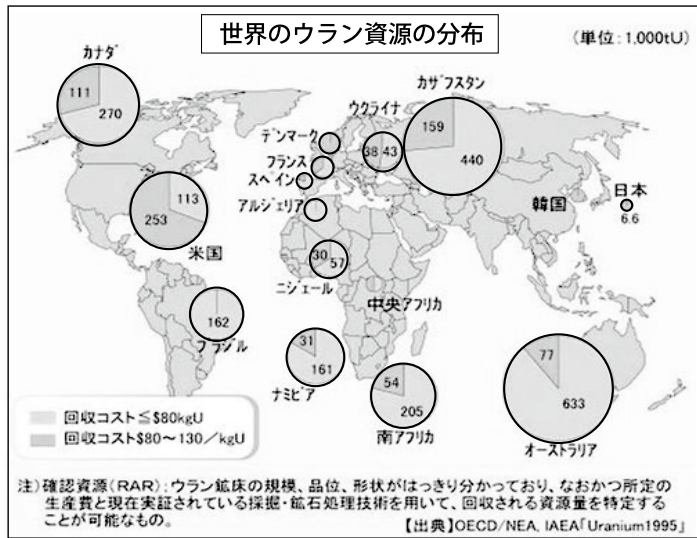
劣化ウランに少量のチタニウムなどを混ぜて金属状に加工し、主に戦車の装甲を貫通させる徹甲弾の弾芯に用いたものです。

## 2. そのウランはどこから来たのか？

オーストラリアやアフリカ、モンゴルなどにウラン鉱山がある。地下数百 m まで深い穴を掘り、ウランを採掘する。なぜわざわざウランを掘り出すのか？それは原発で燃やすためである。



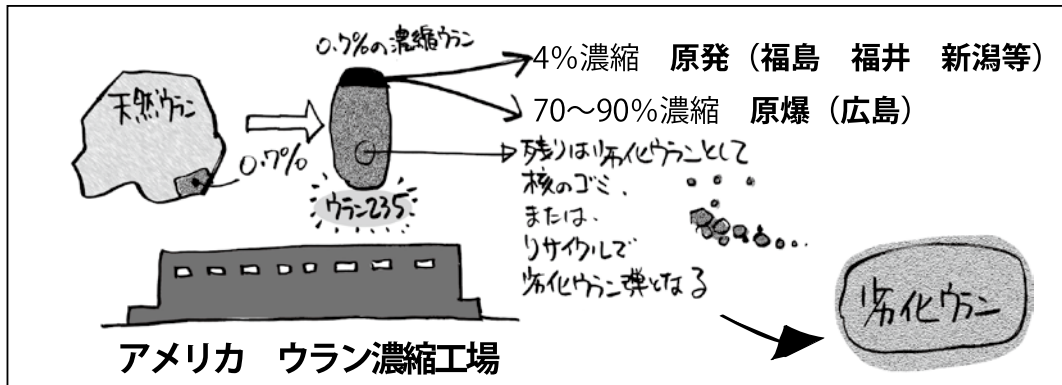
ミッドナイト・ウラン鉱山  
ワシントン州スポケーン先住民居留地



採掘された天然ウランには、核分裂するウラン235はわずか0.7%程度しか含まれていない。だから原子炉で天然ウランをそのまま燃やすことはできない。日本の場合、天然ウランはいったんアメリカの工場に送られる。



アメリカの工場でウラン濃縮作業が行われ、ウラン235を全体の4%程度まで濃縮したものが、原発に。更に濃縮作業を続けていき、90%程度まで濃縮したものが原爆である。4%がじわじわ燃えているのが、原発。90%が一瞬にして燃えるのが広島だ。



アメリカの工場でウランは濃縮されていくが、当然その「搾りかす」ウランが発生する。これが劣化ウランである。

劣化ウランも「核のゴミ」なので、アメリカは安全に管理すべきだった。しかしそれをリサイクルして銃弾に詰めて戦争に使った。通常兵器の弾頭に使う鉛やタングステンよりも「捨てるもの」だったので...

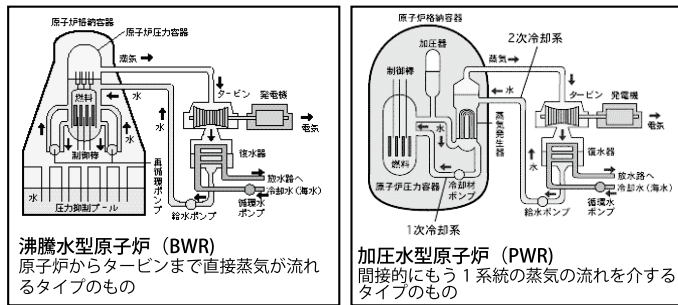
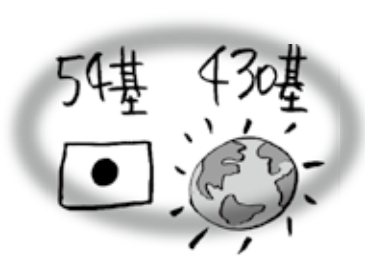
日本で消費する電気を作るためにウランが掘られ、それが劣化ウランという核のゴミとなり、その一部が劣化ウラン弾になっていることは確かだから

私たち日本人は、知らないうちにイラクやアフガンでの劣化ウラン弾被害の加害者になっている。



### 3 原発のオリジナルは、戦争用だった。

現在日本に54基、世界に430基あるといわれる原子力発電所は、アメリカが原子力潜水艦を開発した時に作られた、加圧水型原子炉、沸騰水型原子炉がオリジナルである。



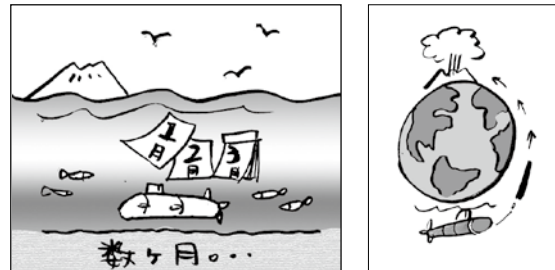
#### 第2時世界大戦後、世界は米ソ冷戦

アメリカは、①潜れる時間が長い、②スピードが速い潜水艦を作ろうとした。ディーゼルエンジンで動く『通常型潜水艦』は酸素が必要なので、普段は海上を航行し、いざという時だけ潜る『パートタイム潜水艦』だった。現代の戦争では、レーダーが発達し、敵から発見されないようずっと潜れる『フルタイム潜水艦』が必要となった。それが『原子力潜水艦』だ。

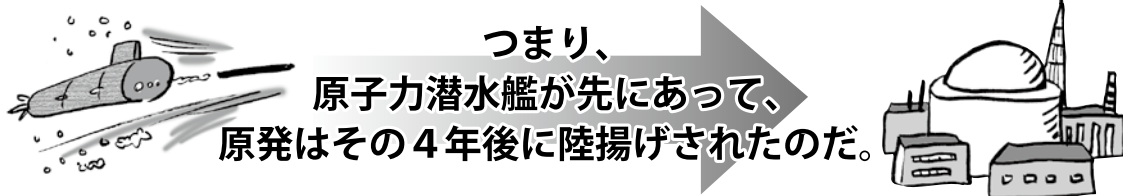
『原子力潜水艦』は、

- i) 酸素が要らない
- ii) 数ヶ月潜りっぱなし
- iii) 敵に発見されない
- iv) 射程の短いミサイルでも相手に届く

という大きな利点があった。



- 1950年 加圧水型原子炉マーク1を、ウェスティングハウス (WH) \*1が開発開始。
- 1954年 1月ノーチラス号に搭載、北極海を横断。⇒ソ連に脅威を与える。  
やや遅れてゼネラルエレクトリック (GE) \*2が、沸騰水型原子炉を開発。  
シーウルフ号に搭載するがうまくいかず。しかし沸騰水型原子炉で、勝負を続ける。
- 1958年 6月アメリカは原子力潜水艦で成功した原子炉を陸にあげ、シッピングポート原発を運転させた。



**\*1 ウェスティングハウス・エレクトリック**  
1886~1999年まで存在したアメリカ合衆国の総合電機メーカー。  
GEのライバルとして、加圧水型原子炉を売っていた。  
2006年からは東芝に買収され東芝グループとなっている。

**\*2 ゼネラル・エレクトリック**  
世界最大の複合企業である。  
1896年以来唯一残存している企業。

ちなみに、加圧水型のウェスティングハウスは東芝と、沸騰水型のゼネラルエレクトリック GE は日立と提携して、今なお世界へ原発を輸出しようとしている。

**主な「原発メーカー」**

1 東芝&WH 2 日立&GE、3 アレバ (フランス)&三菱

原子力関連メーカーには原子炉メーカーの他、原子力発電の原料メーカー、原子力発電所建屋建設ゼネコンなど数多くの企業が存在。原子力関連メーカーは原賠法により、原子力事故を起こした場合にも、責任を負うことなく企業活動を続けているだけでなく、海外に原発を輸出を検討している。

**TOSHIBA**  
Leading Innovation

**HITACHI**  
Inspire the Next

**MITSUBISHI**  
HEAVY INDUSTRIES, LTD.

## 4 原爆にはウラン型とプルトニウム型がある

### マンハッタン計画

- 1940年 0、4kgの濃縮ウランがあれば原爆が作れる、という事実を発見。
- 1942年 オッペンハイマー博士らがロスアラモスで研究を始める。
- 1943年 オークリッジに、ウラン濃縮工場。ハンフォードにプルトニウム生産炉。
- 1945年 7月16日 アラモゴードで世界初の核実験（プルトニウム型）
- 1945年 8月6日ヒロシマへ リトルボーイ ウラン型投下
- 1945年 8月9日ナガサキへ ファットマン プルトニウム型投下



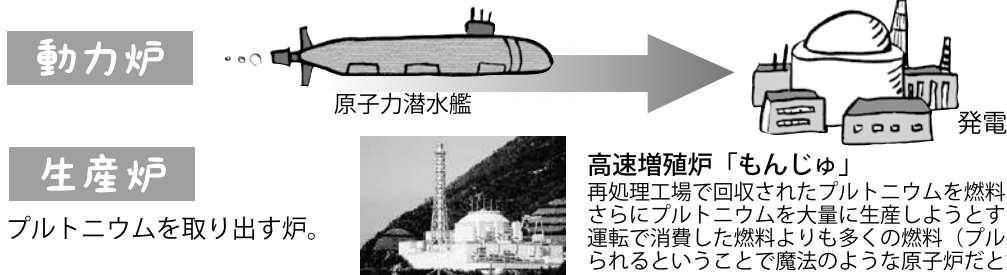
リトルボーイ ウラン型



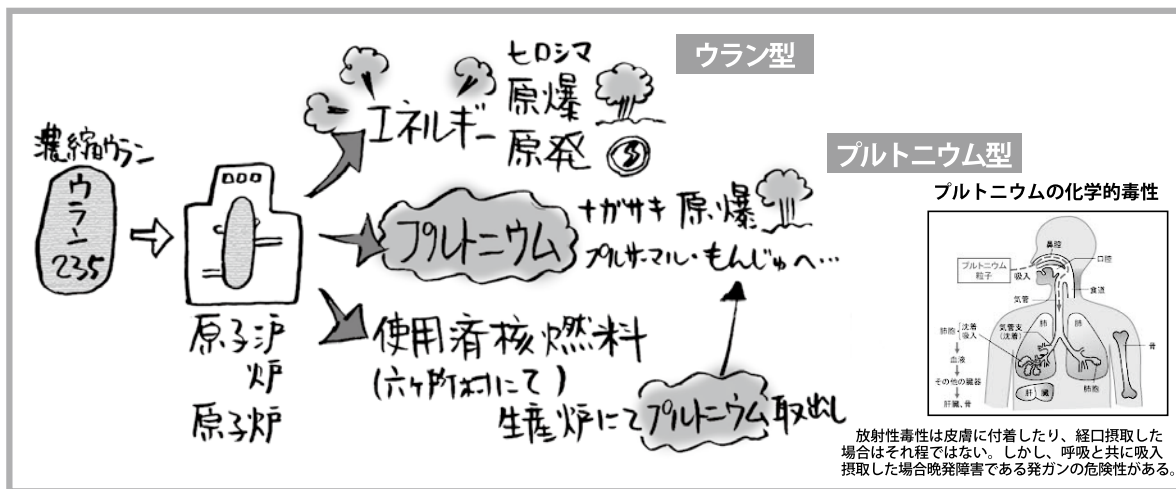
ファットマン プルトニウム型

原子炉には2つの炉がある。

発電する動力炉と、プルトニウムを取り出す生産炉。動力炉は原子力潜水艦を経て、一般の原発になる。生産炉は、高速増殖炉（もんじゅ）に進展していった。



プルトニウムは天然には存在しない。人工的に作らねばならない。それは原子炉（生産炉）で作る。（普通の軽水炉でもできる！）その技術が、発電に応用されただけである。



### 資料引用

☆世界のウラン資源の分布

<http://www.jnfl.co.jp/business-cycle/uran/ref1.html>

☆ミッドナイト・ウラン鉱山写真

<http://satehate.exblog.jp/16729048/>

☆原子力関連メーカーとは

[http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat\\_detail.php?Title\\_No=09-03-01-05](http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?Title_No=09-03-01-05)

<http://ermite.just-size.net/nnaa/fubai.html>

☆プルトニウム図

<http://quasimoto.exblog.jp/14495755/>

☆沸騰水型原子炉・加圧水型原子炉

医療関係者のための原子力まめ知識

<https://www.remnet.jp/newsletter/10/page12.html>

☆ウィキペディア

ウェ스팅ハウス・エレクトリック

ゼネラル・エレクトリック



# 2014年年頭所感

峯廻 攻守 (溪仁会西円山病院・院長)

今日(2014年1月6日)この日は、2011年3月11日の東日本大震災・福島第一原発事故から1033日目にあたります。被災地の復興及び被災者の生活の復旧は、みなさんご存じの通りで、被災者にとって何一つ満足できる状況にはありません。以来、この数年間は日本の国民にとっては最悪且つ不幸な期間であったと思います。その理由は、以下の三つの事象に象徴されていると考えます。

第一の事象:東日本大震災・福島第一原発事故による被災者は2013年12月10日現在、死亡者1万5883名、行方不明者2643名、避難者は約28万人もいるのです。にもかかわらず、以下第二の事象の結果もあり、復興予算は20兆円、社会基盤整備の名の下に、向こう5~10年間の公共事業投資・軍事費が100~200兆円規模という、復興とは名ばかりの政策が推し進められているのです。まさに社会保障国家からふたたび社会舗装国家へと時間を戻す逆転の発想でしかありません。そして2014年4月からは、消費税増税が待ち受けているのです。2007年に超高齢社会に突入した日本ですが、BPSD たとえば徘徊などのため、搜索願を出された認知症高齢者のうち、年間実に9376名が行方不明、死亡が359名にものぼるとのことです。東日本大震災・福島第一原発事故はもとより、これら諸々の現実はどう向き合うのかが、最優先の政治課題のはずです。

第二の事象:2012年12月実施の第46回衆議院選挙と2013年7月実施の第23回参議院選挙の残念な結果です。投票率は前者59.3%、後者52.6%と史上1位と3位の低率。これは、有権者である国民が半分の責任を負うべきものです。とはいえ、衆

議院選挙・参議院選挙ともに、有権者比得票率で平均20~25%に過ぎない自民党が実に60~70%以上の議席を確保した事実です。民意の集約という美辞麗句の下、二大政党制へと企てた小選挙区制の導入とその弊害が如実且つ明白に示されました。結果、両選挙とも、全有権者比得票率の3倍強の議席を自民党に与え、信じ難い国民・世論との乖離を生み出したのです。このような選挙制度下で、我が日本が「民主主義国家」と思わされている国民が不幸でないわけがありません。

第三の事象:2013年10月15日~12月8日、会期57日間の第185臨時国会で、政府・与党提出の新規法案23本中実に20本、87%がほぼ原案通り可決・成立したことです。これも異常事象です。小生の主観ではありますが、真の改正と呼べるものは、改正民法、原子力損害賠償権時効特例法、刑法の一部改正の3本しかありません。その他は、国民・世論の8割が反対あるいは慎重審議を求めている、日本国憲法の根幹(基本的人権、民主主義、平和主義)を否定しかねない違憲立法とも言うべき特定秘密保護法、NSC創設関連法、「改正」自衛隊法をはじめ、社会保障分野でも「改正」生活保護法、「改正」高校授業料無償化法、労働者派遣法「改正」、そして我々にさらには患者・利用者にも直接関連する社会保障制度「改革」プログラム法等など「改正」とは名ばかりの、実質改悪でしかない法案ばかりといわざるを得ません。おまけに、武器輸出三原則を放棄し、年末26日にわざわざ総理大臣安倍晋三名で、侵略戦争美化の宣伝塔、靖国神社を参拝するという、まさに暴走に次ぐ暴走ぶりです。

2013年5月に「アベノミクスの真相」という著作を発表した同志社大学浜矩子教授がテレビインタビューにて、「アベノミクスはアホノミクス」と喝破していたことに、今さらながら敬意を表したい気持ちでいっぱいです。以下浜教授の言葉を引用させていただく。「アベノミクスは高度成長期の幻想にとらわれすぎているのです。今の日本経済の大きな問題は、成長がないことではなく、むしろ再分配がうまくいっていないこと。つまり貧困・格差に対応することこそが一番の政治課題であるべきなのです」。まさに至言であります。この言葉には「医療の質を最重要指標として担保する病院経営とは異なり、株価・株主への配当益を最重要指標とする経営、すなわち株式会社の医療への参入、そして呼び水となる混合診療導入などを絶対に許すな！」という哲学と相通ずるものが示唆されています。もしそのような状況が現実になると、国民皆保険制度は崩壊し、医療

の現場にも格差が浸透・蔓延することは火を見るより明らかとなるでしょう。

さて、2013年12月末、安倍内閣の支持率が急落し始めています。共同通信の世論調査では、支持率47.6%と、初めて5割を下回り、不支持率も38.4%へと高まっています。これは終わりの始まりという現象だと小生は考えます。しかしながら現在の政治力学では向こう3年間、選挙は実施されがたいと予測される現実があります。さらに2014年度は診療報酬のマイナス改定を嚆矢とし、医療・介護・福祉分野の総てにおいて、一段と厳しさを増す情勢予測の下で奮闘せざるを得ません。ピンチの時代であるからこそなおのこと、溪仁会中期経営ビジョンを意気高く掲げて協働し、目標に向かって前進しましょう。

(2014年1月6日 溪仁会西円山病院朝礼にて)

## お知らせとお願い

### ■毎年6月を目安に開催しております、結成記念講演会の準備中です。

現在、堀潤さん（36歳 前NHK「ニュース9」キャスター 「僕らのニュースルーム革命」著者）を第1候補として、開催準備中です。

まもなく詳細をお知らせできると思いますので、どうぞお楽しみに。

### ■憲法セミナーは今年も数回の開催を検討しています。

現在のところ、鈴木昭典氏（「日本国憲法を生んだ密室の9日間」著者）、札幌郷土を掘る会（戦時中の札幌での朝鮮・中国人強制労働の実態などを掘り起こしておられます）のみなさんをお招きしたセミナーを検討中です。

こちらもあり次第お知らせしますので、どうぞよろしく願いいたします。

### ■当会役員が講師を務め、当会が協賛する講演会が予定されています。

「チェルノブイリの今」ウクライナキエフの小児科医と松崎道幸医師の対談

4月19日（土）18：30～ 札幌エルプラザ2F

「国際原子カムラ」出版記念講演会 執筆者・松崎道幸医師の講演

4月27日（日）18：00～ 紀伊國屋書店札幌本店1F

ご案内チラシを同封いたしましたので、どうぞご覧下さい。

なお、5月3日を前後して、毎年多彩な憲法イベントが開催されます。これらにつきましても、詳細がわかり次第、順次お知らせさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

### ■今年度の会費の請求書を同封させていただきました。

請求金額（年度）は、振替用紙に記入しております。すでに2014年度分まで収めていただいた方には、同封しておりません。

当会の活動を支える会費の納入にご協力をよろしく願いいたします。

また、募金についても、ご協力いただけますと幸いです。



---

医療九条の会・北海道  
会報 第24号

●発行日／2014年3月15日 ●発行責任者／松崎 道幸  
●連絡先／札幌市北区北14西3-1-12 ●電話 (011)758-4585 ●FAX(011)716-3927  
●<http://iryo-9jyo.net> 9jyo@dominiren.gr.jp